

## 【岩手県からのお知らせ】

# 太陽光発電設備の撤去等の際はご注意を!!

- ☀️ 太陽光発電設備の太陽電池モジュールは大部分がガラスで構成され、モジュールが破損していても光が当たれば発電します。
- ☀️ 破損した太陽光発電設備の撤去、保管及び運搬を行う際の4つのポイントをお知らせします。

出典：平成 28 年熊本地震により被災した太陽光発電設備の保管等について（平成 28 年5月 16 日付け環境省大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課事務連絡）

### Point① 感電の防止

- ☀️ 太陽電池モジュールは光が当たると発電します。また、太陽光発電設備のパワーコンディショナーや、太陽電池モジュールと電線との接続部は、水没・浸水している時に接近又は接触すると感電する恐れがあることから、感電を防止するよう十分に注意する必要があります。

### 【感電を防止するための留意点】

- ・ 太陽電池モジュールの表面を下にするか、又は表面を段ボール、ブルーシート、遮光用シート等で覆い、発電しないようにすること。
- ・ 複数の太陽電池モジュールがケーブルで繋がっている場合、ケーブルのコネクタを抜き、ビニールテープなどを巻くこと。その際、乾いた軍手、ゴム手袋、ゴム長靴を着用し、絶縁処理された工具を使用すること。
- ・ モジュール周辺の地面が湿っている場合や、太陽電池発電設備のケーブルが切れている等、感電の可能性がある場合は、不用意に近づかず、電気工事士やメーカー等の専門家の指示を受けること。
- ・ 降雨・降雪時には極力作業を行わない等の対策によりリスクを低減させることが望ましい。

（裏面へつづきます。）

## Point② 破損等による怪我の防止

☀ 太陽光モジュールは大部分がガラスで構成されており、破損による怪我を防止するよう十分に注意する必要があります。

### 【怪我を防止するための留意点】

- ・ 破損に備えて保護帽、厚手の手袋（革製等）、保護メガネ、作業着等を着用する等によりリスクを低減させることが望ましい。

## Point③ 水濡れ防止

☀ ガラスが破損した太陽電池モジュールは雨水などの水濡れによって含有物質が流出する恐れや感電の危険性が高まる恐れがあります。

### 【水濡れ防止のための留意点】

- ・ 保管の際は、ブルーシートで覆う等の水濡れ防止策をとることが望ましい。
- ・ 運搬の際は、荷台をブルーシートで覆う、屋根付きトラックによる運送等の水濡れ防止策をとることが望ましい。

## Point④ 立入の防止

- ・ 保管の際は、太陽電池モジュールによる感電、怪我を防止するため、みだりに人が触るのを防ぐための囲いを設け、貼り紙等で注意を促すことが望ましい。

☀ 太陽光発電設備の撤去・運搬・処分に関する留意事項の詳細は、環境省が作成した「**太陽光発電設備のリサイクル等の推進に向けたガイドライン**」をご確認ください。（下記の URL〈環境省ホームページ〉で閲覧、ダウンロードが可能です。）

環境省ホームページ URL <http://www.env.go.jp/press/102330.html>

### 【お問い合わせ先】

岩手県環境生活部資源循環推進課 <TEL> 019-629-5366  
又は最寄りの広域振興局保健福祉環境部・保健福祉環境センター まで